

2025年4月1日

# 自己点検・自己評価項目

東方国際日本語学校

校長 東方 恵子

各項目の評価方法は、5段階評価（5から1）としている。

5:達成されている。

4:ほぼ達成されている。

3:どちらともいえない

2:取り組みに検討が必要

1:改善が必要

## 1 教育理念・目標等

1-1 教育理念は定められているか

段階評価  
【 5 】  
【 5 】  
【 5 】

1-2 教育の目標は明確か

1-3 育成する人材像は明確か

(現状・具体的な取り組み/課題)

### 1-1 教育の理念

- (1) 国際社会で活躍できるグローバル視点の涵養
- (2) 異なる価値観を理解できる多文化共生力の涵養
- (3) 高いコミュニケーション能力の向上

### 1-2 教育目標

- (1) 問題対応能力、実践力の育成
- (2) 日本文化、異文化を理解できる教育
- (3) 日本の大学、専門学校、企業で通用する実践的な日本語能力の育成

1-3 教育理念と教育目標に基づく指導を行い、国際的視野を持ち国際社会で活躍できる人材の育成を目指す。  
教育理念の職員・学生への周知を図るため各教室に掲示

## 2 学校運営

2-1 日本語教育機関の告示基準に適合しているか

2-2 運営方針は定められているか

【 5 】

2-3 事業計画は定められているか

【 5 】

2-4 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか

【 5 】

2-5 人事や財務管理に関する規定は整備されているか

【 5 】

2-6 コンプライアンス体制は整備されているか

【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

2-1 日本語教育機関の告示基準に定められた要件に適合している

2-2 令和7年度運営方針は事務局で作成し全体会議で決定するとともに職員に周知している。

2-3 事業計画についても同様に全体会議で検討のうえ決定し職員に周知している。

2-4 効率的な組織運営を行うため随時検討会を行い、最終的には設置者及び校長により組織としての決定を行うなど意思決定機能は確立している。

2-5 労務管理、人材育成等人事管理に関する規定を整備にしている。また、予算計画、収支管理等の財務管理についても整備している。

2-6 校長を中心としたコンプライアンス委員会を設置している。

## 3 教育活動

3-1 理念に沿ったカリキュラムを体系的に編成しているか

【 5 】

3-2 生徒が到達すべき日本語能力の目標は明示されているか

【 5 】

3-3 成績評価や修了の判定基準は明確となっているか 適切に運用されているか

【 5 】

3-4 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか

【 5 】

3-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか

【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 3-1 理念・目標に沿った体系的なカリキュラム編成を行うとともに目標に沿った教材を選定している。
- 3-2 生徒が到達すべき日本語能力目標については、入学時や各種試験結果に応じて目標設定の見直しを行っている。理解度の遅い生徒に対しては、補習授業や予習・復習指導により到達目標達成を促している。
- 3-3 成績評価及び修了評価は試験結果、出席状況、授業態度等を総合的に勘案し適切に行っている。
- 3-4 各教員は、生徒のレベルと目標を把握しその目標に向けた授業を行うなど資質は十分備わっている。教育内容、方法については、主任教員指示のもと共通理解が図られている。
- 3-5 主任教員指示のもと個々のレベルに応じた指導を行うなど認定率向上のための指導体制を確立している。

#### 4 学習成果

- 4-1 生徒の日本語能力の向上が図られているか 【 5 】
- 4-2 生徒が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか 【 5 】
- 4-3 学生の進路を適切に把握しているか、また、進路に関する最新の資料が備えられ閲覧状態にあるか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 4-1 入学時テストにより能力ごとのクラス編成を行うとともに、以後は、能力試験等の結果及び校内試験の結果により個別またはレベルに応じた対策を行い日本語能力の向上を図っている。また、生徒の個々のレベルや教育内容については、職員間で共有するとともに学習成績は記録・保管し適正に管理している。
- 4-2 能力試験等受験に際し到達目標を設定させるとともに、結果に基づく目標を再度設定させるなど学習意欲の向上と日本語能力の向上を図っている。
- 4-3 生徒との面接により進路を把握するとともに、現状に応じた進路指導を行うなど適切に対応している。また、進路に関する資料については各大学・専門学校などから取り寄せ常に閲覧できるようにしている。卒業後の進路については、進学先及び転居先まで把握している。

#### 5 生徒支援

- 5-1 生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか 【 5 】
- 5-2 生活面における健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか 【 5 】
- 5-3 防災や緊急時における体制が整備されているか 【 4 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 5-1 学習支援、進路支援、生活支援など支援体制を整備しており、支援体制に基づき学習・進路指導責任者と生活指導責任者が連携し、随時随時学生と個別面接を行い、学習相談への対応や進路指導を行うとともに、アルバイトや生活の現状把握に努めている。
- 5-2 新入生については入学後早期に指定病院での健康診断を行い健康チェックに努めている。  
生活指導については、入学直後のオリエンテーションのほか、長期休暇前のオリエンテーションに際し指導するとともに、随時寮に赴き実地指導を行っている。
- 5-3 災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め生徒に配布している。また、災害等発生時には学校及び職員へ即時連絡ができるよう緊急連絡網を配布するなど学生の防災面への支援体制を確立している。

## 6 教育環境

- 6-1 校地及び校舎が十分かつ安全に整備されているか 【 5 】
- 6-2 授業が可能な教材や設備、教育用機器が整備されているか 【 4 】
- 6-3 学習効率を高めるための環境整備がなされているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 6-1 校地・校舎ともに告示基準に則って整備している。教室内はエアコンを設置し換気の状態も良好で照度も十分である。
- 6-2 教材はレベルに合わせた教材を選定している。  
各種の教育機器についてはDVD等メディア関連の教材が不足しており今後の課題である。  
なお、認定日本語教育機関として認定された場合、キャンドウ対応の教科書に変更予定
- 6-3 学生数に適した教室を使用している。また、図書室等を活用した自習スペースを確保するなど常に勉強できる環境整備に努めている。  
トイレについては、男子生徒数を勘案し令和6年8月に改修した。

## 7 入学者の募集

段階評価

- 7-1 学生の募集は適切に行われているか 【 5 】
- 7-2 日本語教育機関の情報は正確に伝えられているか 【 5 】
- 7-3 入学選考は適切に行っているか 【 5 】
- 7-4 授業料等は開示しているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 7-1 年間募集計画を定め、その計画に沿って優秀な生徒の募集に務めている。  
募集に当たっては、正確な学校情報が理解できるよう日本語、英語、中国語の募集要項をホームページに掲載している。  
なお、現在募集対象国に偏りがあるため今後、広げていくことが検討課題である。
- 7-2 募集要項やパンフレットを派遣先の学校等に送付するとともに、常にホームページを更新し最新の情報を掲載することとしている。
- 7-3 学生の選考にあたっては、募集担当者が現地に赴き留学希望者と直接面接を行い選考を行っている。  
なお、面接に当たっては日本語能力のほか、日本留学希望理由、経費支弁能力や将来の構想に至るまでの聞き取りを行い選考している。
- 7-4 授業料、入学金等の金額及び納付時期、並びに学費以外の必要経費についてはホームページで開示している。また、現地面接に際しても生活費等その他の必要経費についても説明を行っている。

## 8 財務

- 8-1 財務状況は、中・長期的 に安定しているか 【 5 】
- 8-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか。 【 5 】
- 8-3 財務について適正な会計監査が実施されているか 【 5 】
- 8-4 財務情報の公開の体制はできているか 【 3 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 8-1 財務状況は安定し中・長期的にも問題点はみられない。
- 8-2 事業計画の通りに毎月の予算管理を行い、安定的な財務基盤を実現している。
- 8-3 会計監査は税理士により定期的に行うこととしている。
- 8-4 財務情報は毎年公認会計士による監査も行い、一定程度に公開されている。

## 9 法令遵守

- 9-1 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営なされているか 【 5 】
- 9-2 コンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っているか 【 4 】
- 9-3 生徒に対する在留関係指導に努めているか 【 5 】
- 9-4 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 【 4 】
- 9-5 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 【 5 】
- 9-6 自己点検・自己評価を公開しているか 【 5 】
- 9-7 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか 【 5 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

- 9-1 関係法令及び基準等を遵守した運営に努めており、出入国在留管理局からは留学生の在籍管理が適正であるとして適正校（クラス1）に選定されている。
- 9-2 コンプライアンス体制を確立するとともに、「コンプライアンス研修資料」を職員に配布するなど法令順守意識の向上に努めている。
- 9-3 在留に関する指導、資格外活動に関する留意事項等について、入学時期及び長期休暇前はもとより日常的に指導に努めている。
- 9-4 コンプライアンス研修に際して資料を配布し個人情報保護の周知徹底を図っている。
- 9-5 現在まで自己点検・自己評価について問題点はない。なお、今後も問題点の把握・改善に努めることとしている。
- 9-6 自己点検・自己評価項目については毎年6月にホームページに掲載し公開している。
- 9-7 報告時期にあわせて遅滞なく実施している。

## 10 地域貢献・社会貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか 【 3 】

10-2 生徒のボランティア活動を奨励・支援しているか 【 5 】

10-3 公開講座等を実施しているか 【 1 】

(現状・具体的な取り組み/課題)

10-1 県内大学の日本語教育課程専攻学生の教育の一環として、本校における授業見学や本校教師との意見交換をさせるなど教育資源や施設を活用した地域貢献に努めている。また、地域の日本語教師を目指す人材に向け授業見学、模擬授業などの相談に応じている。

10-2 生徒の立案により地域の高齢者施設において入所者及び職員との交流会を行い親睦を深めた。入所者からは「大変楽しかった、これからも続けてください。」と感謝されたもので、今後も生徒の活動を支援することとしている。

10-3 公開講座については現在行っておらず今後の検討課題である。

〈総括〉

2019年4月の学校再開以来6年目を迎え卒業生が専門学校、大学に進学、卒業後は日本の企業に就職し日本社会で活躍するなど学校としての実績を徐々に積み上げてまいりました。

その間、各種の試験にも鋭意取り組み、能力試験にあつてはN3、N2はもとよりN1合格者を排出したもので、今後は、生徒の希望に沿ったハイレベルな教育にも取り組み、更なる実績の積み上げを図っていく所存です。

なお、現在は当面の最重要課題として認定日本語教育機関認定法に定める認定校に認定されるべく全職員が一丸となって資料の準備を進めており、また、昨年11月17日に実施された国家試験「登録日本語教員」への受験に際し3人の合格者を排出し、今後は、早期の認定校への認定と残り全員の国家試験合格目指して努力してまいります。